

經濟論叢

第103卷 第2号

岡部利良教授記念號

献 辞	堀 江 英 一	
会計学的費用概念の論理構造	酒 井 文 雄	1
アメリカ鉄道独占の形成と公表会計実務	西 村 明	14
アメリカ動態論の生成基盤	津 守 常 弘	37
自己株式の会計	菅 原 秀 人	60
部分的取替の会計	高 寺 貞 男	76
架空利益排除と貨幣価値変動会計	中 居 文 治	93
法人税法上の会計処理基準の創設	河 合 信 雄	115
批判会計学の課題	野 村 秀 和	132

岡部利良 教授 略歴・著作目録

昭和44年2月

京 都 大 學 經 濟 學 會

岡部利良 教授 著作目録

著 書

- 在支紡績業の発展とその基礎 東洋経済新報社 昭和12年(1937)
 関東州関税制度に関する調査(大連市
 事業調査局調査報告書全5冊のうち) 大連市事業調査局 昭和15年(1940)
 支那の紡績労働(昭和18年脱稿, 200字詰原稿用紙約2,800枚, 本稿は終戦前一人印刷
 所までもち込まれたが, 終戦により印刷中止となり, 以後筐底におかれているも
 のである。)
 中国紡績労働とその管理方法(謄写刷) 日本紡績協会 昭和23年(1948)
 勤労者のための会計学(青木講座「新しい
 会計」第1巻前半) 青木書店 昭和31年(1956)
 現代経営会計講座, 第3巻・財務会計篇
 (編著) 東洋経済新報社 昭和31年(1956)

論 文

- ゲルストナーの経営分析論 経済論叢 第45巻 第6号 昭和12年(1937)12月
 貸借対照表分析論に関する若干
 の問題—カール・レーラーの
 所説について— 経済論叢 第46巻 第3号 昭和13年(1938)3月
 経営分析における比較の意義と
 形態 経済論叢 第48巻 第2号 昭和14年(1939)2月
 経営比較の形態について—経営
 比較論者の見解とその批判— 経済論叢 第49巻 第3号 9月
 支那紡績業に於ける労働請負制
 度—その序説的課題として— 東亜経済論叢 第1巻 第1号 昭和16年(1941)2月
 支那紡績労働請負制度の様式—
 本制度の内容をなす具体的諸
 関係— 東亜経済論叢 第1巻 第2号 5月
 支那紡績労働請負制度の発達—
 その存立の基礎並びに普及の
 程度について— (1) 東亜経済論叢 第1巻 第3号 9月
 支那紡績労働請負制度の発達—
 その存立の基礎並びに普及の
 程度について— (2) 東亜経済論叢 第1巻 第4号 12月
 支那工業労働の低生産性 経済論叢 第54巻 第1号 昭和17年(1942)1月
 南方纖維原料の生産について—
 東亜におけるその培養領域と
 しての地位を中心として— 東亜経済論叢 第2巻 第1号 3月

支那女子紡績労働者創出過程の特質—創出過程を中心とする支那の近代的女子労働者の問題— (1)	東亜経済論叢	第2巻 第2号	昭和17年(1942) 5月
支那工業における株式会社企業の地位	経済論叢	第54巻 第6号	6月
支那女子紡績労働者創出過程の特質—創出過程を中心とする支那の近代的女子労働者の問題— (2)	東亜経済論叢	第2巻 第3号	9月
華商紡績経営における資本の問題	纖維需給調整協議会会報	第3巻 第19号	10月
支那紡績労働の低生産—その規定諸要因の分析—	東亜纖維工業	第2号	昭和18年(1943) 1月
支那紡績労働の質的吟味—支那工業労働力の質に関する一研究— (1)	東亜経済論叢	第3巻 第1号	2月
支那工業に於ける労働場所の諸条件—労働生産性の一規定要因としての調査—	経済論叢	第56巻 第2号	2月
支那紡績労働者の構成的特質	華北紡績工業会月報	第8号	昭和20年(1945) 4月
中国の企業経営に於ける人間関係—華商紡績の管理組織を中心として—	人文科学(京大人文科学研究所)	第1巻 第3号	昭和21年(1946) 12月
ちか頃のある漁村の経済と生活(調査) (1)	世論と経済	第2巻 第10号	昭和22年(1947) 2月
ちか頃のある漁村の経済と生活(調査) (2)	世論と経済	第3巻 第2号	昭和23年(1948) 12月
これからの中小企業	税の研究	第1巻 第2号	6月
中小機業の問題—泉南機業の調査ノートから—	月刊纖維	第1巻 第2・3号	8・9月
原価計算法の理論的性格—その資本家的本質に関する一論—	経済論叢	第64巻 第4・5・6号	昭和24年(1949) 12月
原価の本質—原価計算法の理論的性格統論—	経済論叢	第65巻 第4・5号	昭和25年(1950) 5月
再統制と中小企業	染色と機織	第3巻 第3号	昭和26年(1951) 5月
製造原価の理論	景気観測	第61号	6月
会計学上の租税の研究—その費用性・利潤性に関する理論的吟味— (1)	企業会計	第3巻 第10号	10月
会計学上の租税の研究—その費用性・利潤性に関する理論的吟味— (2)	企業会計	第3巻 第11号	11月
会計学上の租税の研究—その費用性・利潤性に関する理論的吟味— (3)	企業会計	第3巻 第12号	12月
会計学の理論的性格—とくに損益計算論を中心として— (1)	会計	第61巻 第1号	昭和27年(1952) 1月

会計原則の立場と商法の立場— 「商法と企業会計原則との調 整に関する意見書」の批判的 観点—	産 業 経 理	第12巻 第1号	昭和27年(1952) 1月
会計学の理論的性格—とくに損 益計算論を中心として— (2)	会 計	第61巻 第2号	2月
会計学上の租税の研究統論—そ の費用性・利潤性に関する理 論的吟味— (1)	企 業 会 計	第4巻 第2号	2月
会計学上の租税の研究統論—そ の費用性・利潤性に関する理 論的吟味— (2)	企 業 会 計	第4巻 第3号	3月
中小企業における技術の伝承性 —京都陶磁器業における事実 を中心として—	経 済 論 叢	第70巻 第2号	8月
課税所得計算に関する問題—課 税所得縮小論に対する—批判 —	企 業 会 計	第4巻 第11号	11月
貸倒引当金の利益性	経 理 知 識	第2巻 第4号	11月
租税の費用性と利潤性	税 経 通 信	第7巻 第14号	11月
保険差益論の再吟味—その資本 性・利益性の二重性について — (1)	企 業 会 計	第5巻 第3号	昭和28年(1953) 3月
保険差益論の再吟味—その資本 性・利益性の二重性について — (2)	企 業 会 計	第5巻 第4号	4月
保険差益論批判—とくに保険差 益資本説について—	企 業 会 計	第5巻 第8号	8月
貨幣価値変動と企業所得—固定 資産の価格変動差額を中心と して—	税 経 通 信	第8巻 第10号	9月
経営分析の要点 (解説)	簿 記	第4巻 第9号	9月
資本蓄積と税制—わが国におけ る企業所得・課税所得計算の 視角からの—批判— (1)	経 済 論 叢	第72巻 第4号	10月
剰余価値率・利潤率・利益率—剰 余価値率・利潤率はいかに把 握されるべきものであるか—	経 済 論 叢 (マ ルクス死後70 年記念号)	第72巻 第6号	12月
企業会計と経営合理化—原価管 理の資本家的性格を中心とし て—	経 理 知 識	第3巻 第3・ 4号	昭和29年(1954) 1月
原価主義の教義性—会計理論と 会計実践の乖離— (1)	企 業 会 計	第6巻 第1号	1月
原価主義の教義性—会計理論と 会計実践の乖離— (2)	企 業 会 計	第6巻 第2号	2月
経営比率作成上の問題—とくに 統計比率との関連において— (解説)	簿 記	第5巻 第2号	2月

貨幣価値変動期における固定資産再評価の問題性—物価指数による再評価差額論の批判を中心として— (1)	会 計	第65巻 第4号	昭和29年(1954) 4月
貨幣価値変動期における固定資産再評価の問題性—物価指数による再評価差額論の批判を中心として— (2)	会 計	第65巻 第5号	5月
貨幣価値変動期における固定資産再評価の問題性—物価指数による再評価差額論の批判を中心として— (3)	会 計	第65巻 第6号	6月
費用必要説の吟味—費用と損失の区別を中心として— (1)	企業会計	第7巻 第1号	昭和30年(1955) 1月
費用必要説の吟味—費用と損失の区別を中心として— (2)	企業会計	第7巻 第2号	2月
費用必要説の吟味—費用と損失の区別を中心として— (3)	企業会計	第7巻 第4号	4月
税法上のいわゆる特別償却の問題—わが国におけるその性質ならびに会計処理の仕方を中心として— (1)	税 経 通 信	第10巻 第5号	5月
税法上のいわゆる特別償却の問題—わが国におけるその性質ならびに会計処理の仕方を中心として— (2)	税 経 通 信	第10巻 第6号	6月
法人税費用説の吟味—法人税の利潤性・費用性に関する問題—	会 計	第68巻 第1号	7月
収益力再評価論批判—わが国における固定資産再評価と資本蓄積の問題に関連して—	木村和三郎編「資本蓄積と企業会計」		8月
退職給与引当金費用性の吟味—疑義をめぐって— (1)	税 経 通 信	第10巻 第10号	10月
退職給与引当金費用性の吟味—疑義をめぐって— (2)	税 経 通 信	第10巻 第11号	11月
中小企業の経営と労働者 (上)	京都府労働部 ・労働月報	第 9 6 号	11月
中小企業の経営と労働者 (下)	京都府労働部 ・労働月報	第 9 7 号	12月
退職給与引当金費用性の吟味—疑義をめぐって— (3)	税 経 通 信	第10巻 第12号	12月
財産・資本にかんする—論—概念規定と定式化についての試論—	企業会計	第7巻 第13号	12月
企業会計と社会生活—企業会計の収奪的機能(会計学の一節)—	経 理 知 識	第5巻 第3・4号	昭和31年(1956) 1月
原価性の理論—原価性判断の基準についての—批判—	企業会計	第8巻 第1号	1月

租税特別措置とその諸影響—企業会計の取奪的形態の一側面—(1)	税 経 通 信	第11巻 第5号	昭和31年(1956) 5月
租税特別措置とその諸影響—企業会計の取奪的形態の一側面—(2)	税 経 通 信	第11巻 第6号	6月
税法上の減価償却—過大償却・過小償却を中心として—(解説)	簿 記	第7巻 第6号	6月
企業利益の再吟味—あるべき期間利益とはいかなるものか—	会 計	第70巻 第2号	8月
動的会計理論の—批判—財産計算否定論に関する再吟味—(1)	会 計	第71巻 第1号	昭和32年(1957) 1月
書かれている会計—行なわれている会計—会計理論と会計実践—	企 業 会 計	第9巻 第2号	2月
動的会計理論の—批判—財産計算否定論に関する再吟味—(2)	会 計	第71巻 第3号	3月
動的会計理論の—批判—財産計算否定論に関する再吟味—(3)	会 計	第71巻 第4号	4月
動的会計理論の—批判—財産計算否定論に関する再吟味—(4)	会 計	第71巻 第5号	5月
会計学はいかに学ぶべきか—会計学研究方法論序説—(1)	経 営 セ ミ ナ ー	第2巻 第5号	5月
動的会計理論の—批判—財産計算否定論に関する再吟味—(5)	会 計	第71巻 第6号	6月
会計学はいかに学ぶべきか—会計学研究方法論序説—(2)	経 営 セ ミ ナ ー	第2巻 第6号	6月
資産の評価と損益の関係—あるまじかった考え方について—(解説)	簿 記	第8巻 第6号	6月
贈与剰余金の性格(解説)	企 業 会 計	第9巻 第8号	7月
動的損益計算論の性格—損益計算主義は妥当か—(1)	会 計	第72巻 第2号	8月
動的損益計算論の性格—損益計算主義は妥当か—(2)	会 計	第72巻 第3号	9月
動的損益計算論の性格—損益計算主義は妥当か—(3)	会 計	第72巻 第4号	10月
費用概念拡大の傾向—ペイトンの所説を中心として—(1)	企 業 会 計	第9巻 第12号	11月
簿記の理論と実際—簿記はどう考えるべきものか—(解説)	簿 記	第9巻 第1号	昭和33年(1958) 1月
会計学上の資本と利益—両者の区別の仕方についての一論—(1)	会 計	第73巻 第1号	1月
会計学上の資本と利益—両者の区別の仕方についての一論—(2)	会 計	第73巻 第2号	2月

費用概念拡大の傾向—ペイトンの所説を中心として— (2)	企業会計	第10巻 第2号	昭和33年(1958) 2月
会計上の資本と利益—両者の区別の仕方についての一論— (3)	会 計	第73巻 第3号	3月
会計上の資本と利益—両者の区別の仕方についての一論— (4)	会 計	第73巻 第4号	4月
貸倒引当金設定の根拠 (解説)	簿 記	第9巻 第4号	4月
利子と配当の異同性—なぜ利子は費用としながら配当は利益処分項目とするか—	産業経理	第18巻 第5号	5月
財務諸表の機能について—財務諸表は受託者責任の報告書たりうるものであるか—	企業会計	第10巻 第9号	8月
貸借対照表の考え方についての反省—貸借対照表はたんに召使にすぎないか— (解説)	簿 記	第9巻 第10号	10月
企業利益計算の課題—費用概念を中心とする一論—	経済評論	第7巻 第11号	10月
継続性原則の再吟味	税経通信	第13巻 第12号	11月
企業会計の資本蓄積機能—株主との関係からみたいわゆる決算報告機能の資本家的意義—	木村和二郎編「生産性向上と企業会計」		12月
ヒルファディングの創業利得説 批判序説 (1)	経済論叢	第82巻 第6号	12月
企業会計原則構成上の問題	企業会計	第11巻 第1号	昭和34年(1959) 1月
低価主義による評価損の会計処理 (解説)	簿 記	第10巻 第1号	1月
株式プレミアムと創業利得再論—内川講師へのお答を中心として— (1)	会 計	第75巻 第1号	1月
株式プレミアムと創業利得再論—内川講師へのお答を中心として— (2)	会 計	第75巻 第3号	3月
ヒルファディングの創業利得説 批判序説 (2)	経済論叢	第83巻 第4号	4月
株式プレミアムと創業利得再論—内川講師へのお答を中心として— (3)	会 計	第75巻 第5号	5月
ヒルファディング創業利得説の批判—創業利得における平均利潤の問題—	「京都大学経済学部創立四十周年記念経済学論集」		5月
ヒルファディングの創業利得説 批判序説 (3)	経済論叢	第83巻 第6号	6月

株式プレミアムと創業利得再論 —内川講師へのお答を中心と して— (4)	会 計	第75巻 第6号	昭和34年(1959) 6月
税法上の所得概念批判	会 計	第76巻 第4号	10月
動態論と低価主義—動態論者た ちへの質問—	産 業 経 理	第19巻 第11号	11月
贈与剰余金の利益性 (1)	企 業 会 計	第11巻 第14号	11月
贈与剰余金の利益性 (2)	企 業 会 計	第11巻 第15号	12月
貨幣価値一定の仮定 (解説)	簿 記	第10巻 第12号	12月
法人税費用説の批判—法人税は なぜ費用でないか—	企 業 会 計	第12巻 第2号	昭和35年(1960) 2月
減価償却についての考え方—投 下資本の回収計算を中心とし て— (解説)	簿 記	第11巻 第3号	3月
継続性原則の非継続性—継続性 原則の批判— (1)	税 経 通 信	第15巻 第3号	3月
継続性原則の非継続性—継続性 原則の批判— (2)	税 経 通 信	第15巻 第5号	5月
非生産的株式プレミアム論争— 川合一郎教授にたいする反批 判— (1)	会 計	第77巻 第5号	5月
非生産的株式プレミアム論争— 川合一郎教授にたいする反批 判— (2)	会 計	第78巻 第1号	7月
わが国の批判会計学—「批判会 計学の課題」序章—	松尾憲橋編「批判会計学の基礎」 (武田孟先生還暦記念論文集)		7月
資本剰余金諸項目の再吟味	企 業 会 計	第12巻 第10号	8月
非生産的株式プレミアム論争— 川合一郎教授にたいする反批 判— (3)	会 計	第78巻 第4号	10月
非生産的株式プレミアム論争— 川合一郎教授にたいする反批 判— (4)	会 計	第78巻 第6号	12月
暖簾償却額の会計学上の性格— 諸説の吟味—	企 業 会 計	第13巻 第10号	昭和36年(1961) 8月
交際費の利益処分的性格—交際 課税論の主張—	簿 記	第12巻 第10号	10月
保険料および自家保険積立金の 会計学上の性格	税 経 通 信	第17巻 第1号	昭和37年(1962) 1月
合併の本質と合併差益の性格	企 業 会 計	第14巻 第2号	2月
批判会計学における建設的提言 の問題—批判会計学に関する 一論—	古林喜楽, 薬利重隆, 醍醐作三 編「経営・会計の理論」(佐々木 吉郎博士還暦記念論文集)		2月
損失の研究 (1)	会 計	第81巻 第4号	4月

損失の研究 (2)	会 計	第81巻 第5号	昭和37年(1962) 5月
会計学上の利子論の展開——批判的研究一	経 済 論 叢	第89巻 第6号	6月
損失の諸項目と損失の性格——損失の研究 (3)一	会 計	第82巻 第1号	7月
収益・費用の概念について——アメリカ的な考え方とドイツ的な考え方——(解説)	簿 記	第13巻 第7号	7月
損失の諸項目と損失の性格——損失の研究 (4)一	会 計	第82巻 第4号	10月
いわゆる合併差損の性格 (1)	企業法研究	第 9 6 輯	昭和38年(1963) 5月
いわゆる合併差損の性格 (2)	企業法研究	第 9 7 輯	6月
商法計算書類規則の批判	企業会計	第15巻 第6号	6月
続・損失の研究	会 計	第84巻 第1号	7月
いわゆる純財産増加説の批判——わが法人税法の場合を中心として——	大阪市立大学会計学研究室編 「現代会計学の課題」(木村和三郎先生還暦記念論文集)		12月
いわゆる「その他の資本剰余金」批判——根本的に検討することを要請する——	企業会計	第16巻 第1号	昭和39年(1964) 1月
いわゆる「その他の資本剰余金」に関する問題 (1)	税 経 通 信	第19巻 第4号	4月
いわゆる「その他の資本剰余金」に関する問題 (2)	税 経 通 信	第19巻 第5号	5月
資本と利益の区別の基準——あわせて西山助教授の異論・批判について—— (1)	会 計	第85巻 第5号	5月
いわゆる「その他の資本剰余金」に関する問題 (3)	税 経 通 信	第19巻 第6号	6月
資本と利益の区別の基準——あわせて西山助教授の異論・批判について—— (2)	会 計	第85巻 第6号	6月
資本と利益の区別の基準——あわせて西山助教授の異論・批判について—— (3)	会 計	第86巻 第1号	7月
建設助成金ははたして資本剰余金であるか——黒沢・山下両教授の所説の批判を中心として——	会 計	第86巻 第2号	8月
資本と利益の区別の基準——あわせて西山助教授の異論・批判について—— (4)	会 計	第86巻 第4号	10月
資本と利益の区別の基準——あわせて西山助教授の異論・批判について—— (5)	会 計	第86巻 第5号	11月

商法上の損費論批判	「企業法研究創刊十周年記念論文集」			昭和39年(1964)12月
利益処分概念についての通説的 謬見	企業法研究	第 1 1 6 輯		昭和40年(1965)1月
労働委員会への関心のあり方 (短文)	季刊・労働と 経済(京都府 民政労働部)	第 4 号		3月
会計学上の収益概念の批判的検 討	実務会計	第1巻第4号		4月
Development of Theory of Interest in Accounting— A Critical Study—	<i>The Kyoto Uni- versity Econo- mic Review</i>	Vol. 35, No. 1,		April
資本と利益の区別の基準—あわ せて西山助教授の異論・批判 について— (6)	会 計	第88巻 第1号		7月
資本と利益の区別の基準—あわ せて西山助教授の異論・批判 について— (7)	会 計	第88巻 第4号		10月
資本と利益の区別の基準—あわ せて西山助教授の異論・批判 について— (8)	会 計	第88巻 第5号		11月
元本・費用・利益—会計学上の 利益概念検討のために—	税 経 通 信	第20巻 第13号		11月
資本と利益の区別の基準—あわ せて西山助教授の異論・批判 について— (9)	会 計	第88巻 第6号		12月
新監査実施準則と企業会計原則 (短文)	企業法研究	第 1 2 8 輯	昭和41年(1966)1月	
資本と利益の区別の基準—あわ せて西山助教授の異論・批判 について— (10)	会 計	第89巻 第3号		3月
建設助成金に関する問題—小島 康裕講師に対する反批判—	企業会計	第18巻 第7号		7月
会計学総論序説(会計学総論, 第1講)	税経セミナー	第11巻 第10号		9月
会計学総論序説(会計学総論, 第2講)	税経セミナー	第11巻 第11号		10月
企業会計における企業経営上の 問題(会計学総論, 第3講)	税経セミナー	第11巻 第12号		11月
贈与剰与金の性格統論 —中島 教授, 中村助教授に対する反 批判—	実務会計	第2巻 第12号		12月
企業会計における企業経営上の 問題(会計学総論, 第4講)	税経セミナー	第12巻 第1号	昭和42年(1967)1月	
連結財務諸表に関する意見書 (仮案)の至要論点(短文)	企業法研究	第 1 4 0 輯		1月
企業会計の特質と問題 (1)(会 計学総論, 第5講)	税経セミナー	第12巻 第3号		3月

企業会計の特質と問題 (2) (会計学総論, 第6講)	税経セミナー	第12卷 第4号	昭和42年(1967) 4月
企業会計の特質と問題 (3) (会計学総論, 第7講)	税経セミナー	第12卷 第5号	5月
研究方法論不在の会計学	実務会計	第3卷 第5号	5月
企業会計の特質と問題 (4) (会計学総論, 第8講)	税経セミナー	第12卷 第7号	6月
企業会計の特質と問題 (5) (会計学総論, 第9講)	税経セミナー	第12卷 第8号	7月
持分概念についての疑義	企業会計	第19卷 第8号	7月
企業会計と企業関係者—企業会計の収奪的機能— (1) (会計学総論, 第10講)	税経セミナー	第12卷 第9号	8月
企業会計と企業関係者—企業会計の収奪的機能— (2) (会計学総論, 第11講)	税経セミナー	第12卷 第10号	9月
持分均衡説批判	税経通信	第22卷 第10号	9月
実現主義についての一論	産業経理	第27卷 第10号	10月
会計方法と会計学の特質 (1) (会計学総論, 第12講)	税経セミナー	第12卷 第12号	11月
会計方法と会計学の特質 (2) (会計学総論, 第13講)	税経セミナー	第12卷 第13号	12月
「逆粉飾」による被害的諸影響 (短文)	企業法研究	第152輯	昭和43年(1968) 1月
会計目的 (1) (会計学総論, 第14講)	税経セミナー	第13卷 第1号	1月
山下教授建設助成金論の反批判 (1)	会計	第93卷 第1号	1月
山下教授建設助成金論の反批判 (2)	会計	第93卷 第2号	2月
会計目的 (2) (会計学総論, 第15講)	税経セミナー	第13卷 第2号	2月
資本金論の一批判—丹波教授の著書「資本金論」についての疑義・異論— (1)	経済論叢	第101卷 第2号	2月
会計目的 (3) (会計学総論, 第16講)	税経セミナー	第13卷 第3号	3月
会計学の研究方法 (会計学総論, 第17講)	税経セミナー	第13卷 第4号	4月
嶋川先生の会計学—とくに会計方法の理論について—	嶋川虎三先生古稀記念論文集編集委員会編「現代の経済と統計」(嶋川虎三先生古稀記念)		5月
損益計算論	馬場克三編「理論会計研究」(近代会計学大系 第10巻)		7月

残余利潤としての企業利益論—費用の考察を中心として—	京都大学会計学研究室編「企業利潤論」	昭和43年(1968) 9月
A Study on Loss in the Science of Accounting—An Introduction to Theories of Loss—	<i>The Kyoto University Economic Review</i> Vol. 38, No. 2	October
資本金論の批判—丹波教授の著書「資本金論」についての疑義・異論— (2)	経済論叢 第102巻第6号	12月
資本金論の批判—丹波教授の著書「資本金論」についての疑義・異論— (3)	経済論叢 第103巻第1号	昭和44年(1969) 1月
利益剰余金(企業者利得)に関する一論—内川教授の反論にたいする反批判—	同志社商学(川合安雄教授古稀祝賀記念号) 第20巻第5・6号	3月

辞 典 執 筆

総原価計算	岩田巖, 片野一郎, 松本雅男, 番場嘉一郎編	簿記会計ハンドブック	同 文 館	昭和27年(1952)
企業会計原則, 流動資産, 棚卸資産, 標準原価計算, 経営比較, 税務会計等19項目	大阪市立大学経営研究会編	クライネス経営学辞典	創 元 社	昭和28年(1953)
名目資本, 実質資本, 実体資本, 経営分析, 標準比率, 比率分析法	神戸大学会計学研究室編	会計学辞典	同 文 館	昭和30年(1955)
税務会計	大阪市立大学経済研究所編	増訂・経済学小辞典	岩 波 書 店	昭和31年(1956)
税務会計	大阪市立大学経済研究所編	経済学辞典	岩 波 書 店	昭和40年(1965)
財務比較, 全体比較, 損益比較, 統計比較, 標準比率, 比率分析法, 部分比較	神戸大学会計学研究室編	新会計辞典	同文館出版	昭和41年(1966)
税務会計, 純財産増加説, 権利確定主義, 租税特別措置	山本安次郎, 上林貞治郎, 岡村正人編	経営経済学辞典	ミネルヴァ 房 書	昭和41年(1966)

(作成者 西田 博)